「日々の理科」（第 4017 号）　2025, -8, -6

# 「北海道一周鉄道旅行 （21）」

お茶の水女子大学サイエンス＆エデュケーション研究所

田中　千尋　Chihiro Tanaka

やっと釧路に着きました。網走発が 6:38、釧網本線全駅停車で、釧路着が 10:00 で 3 時間 22 分！なかなかの長時間普通列車でした。

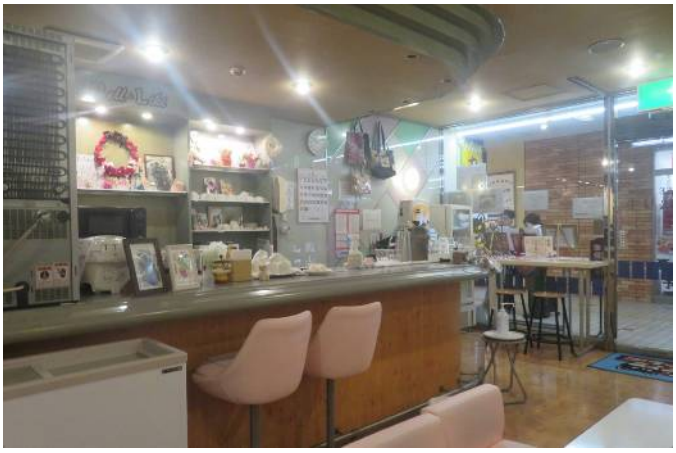
釧路駅構内には「311km」キロポストがあります。これは根室本線の始発駅「滝川駅」からの営業キロです。しかし現在の根室本線は、途中の富良野～新得間が廃止になり、線路が途切れてしまっています。

釧路市はかつて札幌、旭川、函館に次いで、道内人口４位の都市でした。現在は苫小牧、帯広に抜かれて６位に転落しましたが、それでも人口約 15 万人で道東最大の都市です。駅の規模や特急列車の発着本数も道東最大です。もちろん駅員さんもいます。

釧路市は「飲食店数道内２位」だけあって、駅舎内のショッピングモールも充実しています。さすがに大宮駅みたいに規模は大きくないのですが、旭川以来、賑やかな駅を見ていないので、ものすごく華やかに見えてしまいました。

昼食には少し早かったのですが、このあと根室方面の行程では、昼食にありつけるかわからなかったので、

このお店に入ることにしました。



何となく昭和レトロっぽい店内です。昭和 30 年代生まれのオジサン（中高年）にとっては、こういう雰囲気のお店はとても落ち着きます。

まだ「モーニングセット」をやっていたので、それにしました。トースト、ゆで卵、コーヒー付で 600 円は、今時ちょっとお得でした。

私が乗る予定の列車は 11:13 発の「快速ノサップ」根室行です。発車表示を見ると、その前に「ノロッコ川湯温泉号」川湯温泉行ってのが表示されています。ちょうど私が乗る列車の向かい側のホームらしいので、「見学」することにしました。

これがそいつです。ディーゼル機関車牽引の客車列車です。かつてはこういう牽引列車が、久大本線（九州）、磐越西線（福島）などに定期列車として走っていましたが、現在は臨時列車でも珍しくなりました。

「ノロッコ」というのは、「ノロノロ走るトロッコ列車」といった意味です。目的地に行くことではなく、沿線景観を楽しむための観光列車ですね。釧網本線のノロッコ号は、主として釧路湿原に風景を楽しむために、夏を中心に１日に１～２往復走っています。景色の良い場所では徐行や一時停車のサービス付きです。

車内も昭和の急行列車のようなレトロな雰囲気です。次回は乗ってみようと思いました。